

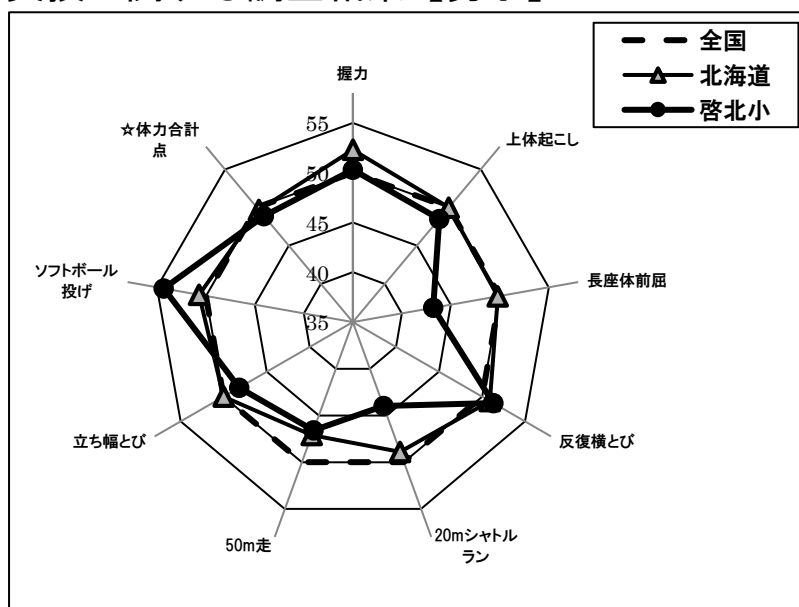
全国体力・運動能力・運動習慣調査結果より

全国体力・運動能力・運動習慣調査は、「各学校が児童の体力や運動習慣，生活習慣，食習慣等を把握し，学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる」ことを目的に，平成20年度より小学5年生を対象に行われています。

調査の内容は，①実技に関する調査（「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」）と②運動や生活習慣に関する質問紙調査です。

結果の概要をお知らせいたします。

実技に関する調査結果【男子】

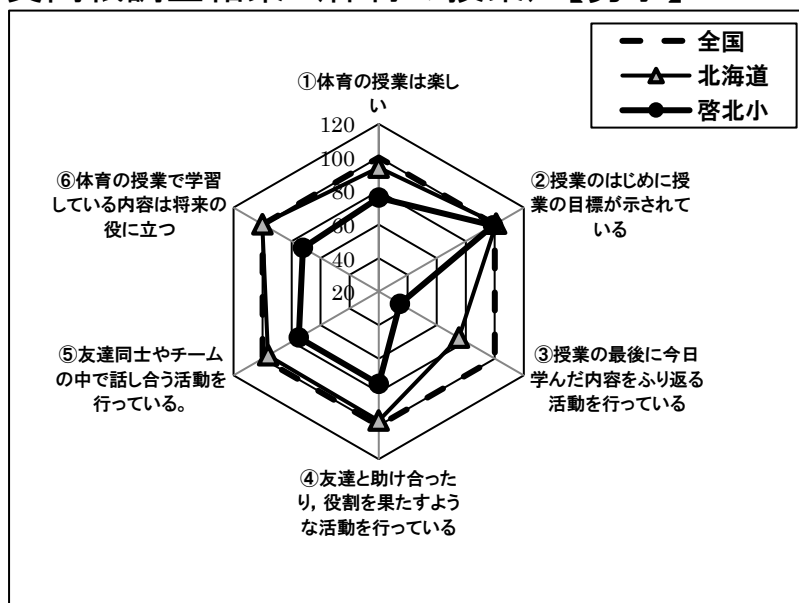


- 「ソフトボール投げ」においては，高い値となり，全国，全道の平均を上回っています。
- 体力合計点はほぼ全国・全道の平均と同程度です。

△「長座体前屈」などの柔軟性，「20mシャトルラン」や「50m走」などの持久走や走力に課題があります。

※T得点：全国平均値に対する相対的位置（全国平均を50とした時の数値）

質問紙調査結果（体育の授業）【男子】



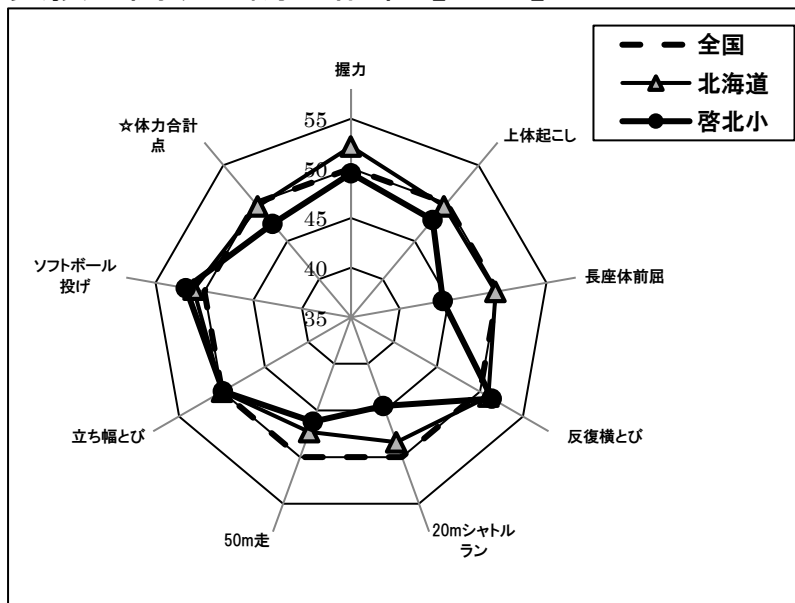
- 「授業のはじめの目標提示」の項目で，全国・全道の平均とほぼ同値となっています。

△全体的に体育への興味や関心が低い傾向が見られます。

△昨年度同様「授業の最後に学んだ内容をふり返る活動を行っている」と感じている児童が少ないです。

※チャート指数：
割合÷全国の割合×100

実技に関する調査結果【女子】

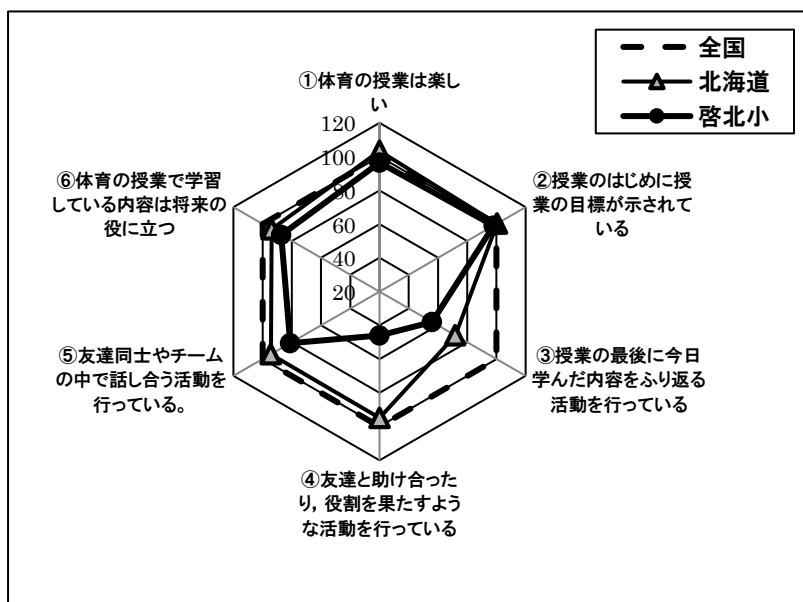


○男子同様、「ソフトボール投げ」においては、全道、全国の平均を上回っています。
また、「反復横とび」においても上回っています。

△男子同様「長座体前屈」などの柔軟性、「20mシャトルラン」や「50m走」などの持久走や走力に課題があります。

※T 得点：全国平均値に対する相対的位置（全国平均を50とした時の数値）

質問紙調査結果（体育の授業）【女子】



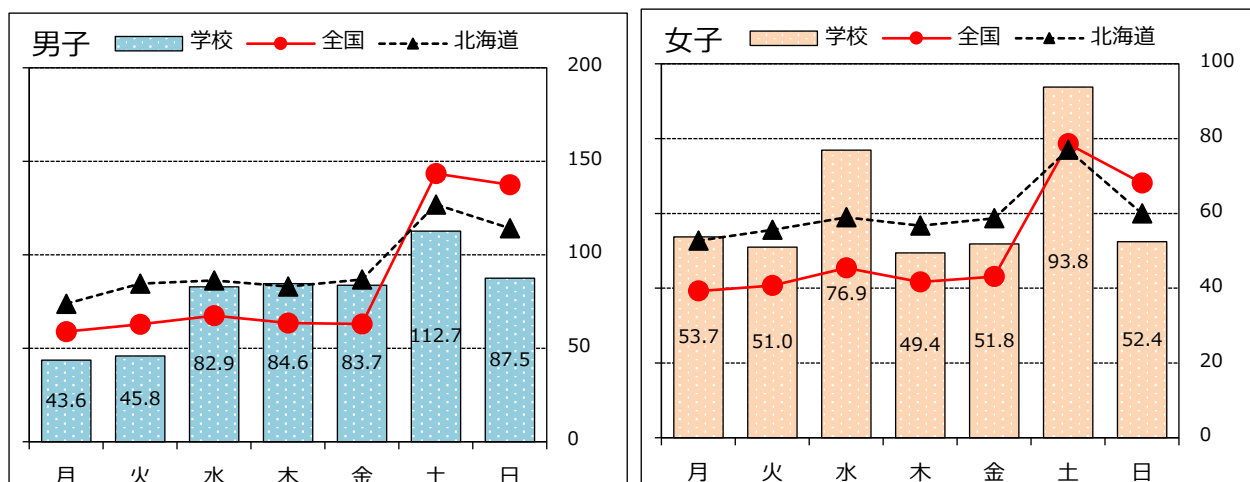
○「体育の授業は楽しい」、「授業のはじめの目標提示」等は全道・全国と同程度の値であり、体育を楽しみにしている様子が見えます。

△「授業の最後に学んだ内容をふり返る活動を行っている」、「友達と助け合う・役割を果たす」と感じている児童が少ないです。

※チャート指数：
割合÷全国の割合×100

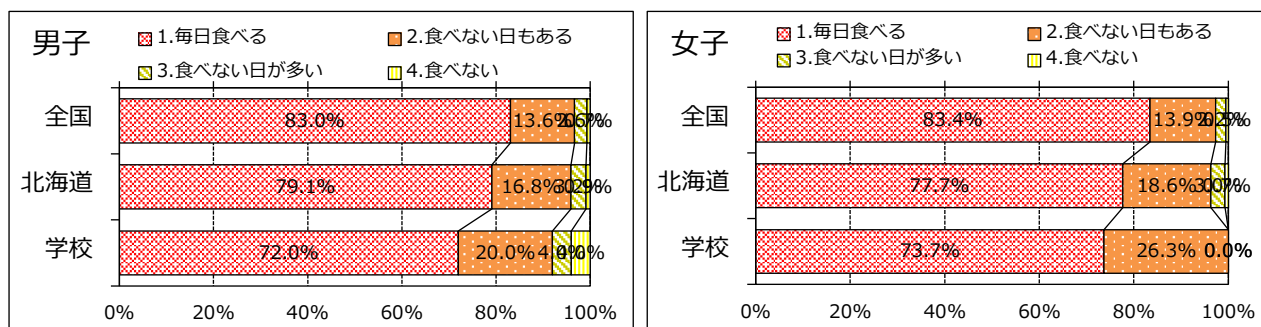
質問紙調査（運動習慣・生活習慣にかかわって）

Q 6 ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。



○曜日によってばらつきはありますが、全道・全国平均と比較すると、男子は全体的に運動する時間が短く、女子は全体的に、運動する時間が長い結果となっています。
△日曜日は、全道・全国の平均よりも、短い時間となっています。

Q 7 朝食は毎日食べますか。（学校が休みの日もふくめます。）



○男女ともに、全国・全道と比べ、朝食を毎日食べる児童が少なくなっています。

今後に向けて

（学校では）運動に対する主体性を育て、課題の解決に取り組みます

男女ともに、実技の合計点は、全道・全国の平均を下回りました。体育の授業における準備体操の工夫や運動量の確保を通して、基礎体力の向上を目指していきます。

また、体育の授業や「もくもくデー」等を通して、子ども達が「体育の授業は楽しい」と感じ、「この学習の内容は、将来役に立つ」という見通しをもち、「主体的に運動しようとする」（意欲）を身に付けることができるように指導し、学校教育目標の一つである「心身共に健康な子ども」の育成を目指します。

（家庭では）積極的な運動・外遊び

グラウンドで遊ぶ児童が増えてきました。今後も、遊具などを使って進んで運動したり、外遊びをしたりし、子供達の気力、体力、学力を高めるのに必要な望ましい生活リズムづくりに努めていきたいと思います。